

## しょうぎょうか すすむオリンピックの商業化

コカ・コーラ、リーボック、ヒルトン・ホテルズ、マクドナルド、ボシュロム、これらからあなたは、<sup>なに</sup> <sup>そうぞう</sup> いったい何を想像するだろうか。飲料水の<sup>いんりょうすい</sup> コーラを<sup>の</sup> 飲み、リーボックの靴を<sup>くつ</sup> はき、世界の<sup>せかい</sup> ホテル・チェーン、ヒルトンに泊まり、マックのハンバーガーを<sup>た</sup> 食べる。ボシュロムとは、あのかっこいいレイバンの<sup>つく</sup> <sup>おお</sup> <sup>わかもの</sup> <sup>つか</sup> サングラスを作り、多くの若者が使っている<sup>お</sup> <sup>お</sup> <sup>あいう</sup> <sup>しょうひん</sup> コンタクト・レンズの会社である。日頃、わたしたちの<sup>かいしゃ</sup> <sup>ひごろ</sup> <sup>おお</sup> <sup>あいう</sup> <sup>しょうひん</sup> 多くが愛用しているこれらの商品のメーカーが、あのオリンピックの<sup>きぎょう</sup> スポンサー企業である。まるでオリンピックは<sup>せかい</sup> <sup>へんぼう</sup> <sup>こくさい</sup> <sup>いいん</sup> ビジネスの世界へと変貌したかのようである。IOC(国際オリンピック委員会)は、このほかに<sup>かい</sup> <sup>おお</sup> <sup>こくさい</sup> <sup>きぎょう</sup> <sup>けいやく</sup> <sup>むす</sup> <sup>しゅうにゅう</sup> <sup>ねん</sup> も多くの国際企業と契約を結び、その収入は1992年のバルセロナでは、<sup>やく</sup> <sup>まん</sup> <sup>たつ</sup> <sup>ねん</sup> <sup>ごりん</sup> <sup>やく</sup> 約150万ドルに達した。1996年のアトランタ五輪では<sup>まん</sup> <sup>ほうえい</sup> 約400万ドルにもなるといわれている。またIOCはオリンピックのテレビ放映<sup>けん</sup> <sup>はんばい</sup> <sup>ごりん</sup> <sup>がく</sup> <sup>おく</sup> <sup>やく</sup> <sup>おくえん</sup> 権を販売し、バルセロナ五輪では、その額は6億ドル(約780億円)にもなった。

<sup>しょうばいじょうず</sup> <sup>くに</sup> <sup>しんじょう</sup> <sup>じんしゆ</sup> IOCが商売上手かどうかは、ともかくとして、これが国や信条や人種<sup>こ</sup> <sup>さいてん</sup> <sup>げんじつ</sup> <sup>すがた</sup> を越えたスポーツの祭典の現実の姿である。いまや、スポンサーなしには、<sup>な</sup> <sup>た</sup> <sup>しょうぎょうか</sup> <sup>せんしゆ</sup> オリンピックは成り立たなくなっている。オリンピックの商業化は、選手た<sup>そくばく</sup> <sup>りよう</sup> <sup>せかい</sup> <sup>くべつ</sup> しをも束縛し、利用し、スポーツとビジネスの世界の区別がつかなくなつて<sup>きょうさんきぎょう</sup> <sup>しょうひん</sup> <sup>こうかてき</sup> <sup>せんでん</sup> しまった。つまり、協賛企業は、商品を効果的に宣伝することによって、

おお りえき せかいきろく こうしん けいやくせんしゆ  
大きな利益をあげている。しかも世界記録を更新するたびに、契約選手た

で しょうぎょう  
ちにはボーナスが出ることになっている。こういったオリンピックの商業

か ほうこう なが ろこつ しょうぎょうか  
化は、これからどんな方向へと流れていくのであろうか。露骨な商業化は、

ぼな まね いけん きん  
いずれはファン離れを招くという意見もある。それだけでなく、金メダルや

きろくこうしん やくぶつしよ う へいがい う  
記録更新へのプレッシャーは薬物使用という弊害を生んでいる。「フェアプ

せいしん きょうぎ あい こころ むかしがた  
レーの精神と競技を愛する心」は昔語りになりつつあるのかもしれない。

むかし むかし こだい かみ しゅうきょうぎょうじ  
昔といえば、はるか昔、古代ギリシャで、神にささげる宗教行事とし

さいてんきょうぎ おこな ぎょうじ ちほう さか おこな  
て祭典競技が行われていた。この行事は、オリンピア地方でも盛んに行

こっかてき きぼ はってん こだい まつり  
われていたが、やがてこれが国家的な規模へと発展して、古代オリンピア祭

さいてん なが あいだちゅうだん きげんぜん ふっかつ  
となった。この祭典は長い間中断されていたが、紀元前776年に復活し、

ねんいじょう きげん ねん かい ねん つづ  
1000年以上にわたって、紀元393年の293回まで、4年ごとに続けられてきた。

さいてん おこな とき こだい としこっか とき はげ たたか  
祭典が行われる時は、古代ギリシャの都市国家も、その時だけは激しい戦

て やす  
いの手を休めたといわれる。(後略) ……。